

令和5年度学校応援団推進事業

重点的に取り組む課題について

令和5年度学校応援団推進事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等を設定し、以下のとおり、結果を公表します。

1 課題

学校支援ボランティアの固定化・高齢化による後継者の確保や育成。

2 課題の解決のために、取り組むこと

学校応援団の活動等に対する見聞を広めるため、広報活動を実施する。

3 本事業で達成する目標

本事業の見聞が広がり、幅広い層からの学校支援ボランティアの応募が募り、後継者の育成や確保が容易となる。

4 目標の達成度を測る指標

「学校支援ボランティアの後継者が確保できている。」「新規登録者が増加している。」割合。(市教育委員会のアンケート調査は、別紙のとおり。)

5 数値

令和5年度の目標値：50%

令和5年度の実績値：54.3%

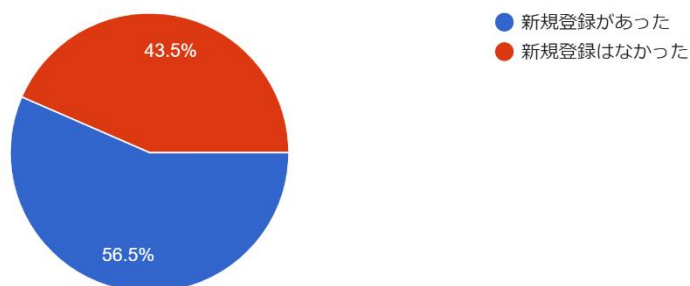
6 評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)

成果として、市内学校の学校支援ボランティアの新規登録割合は56.5%、後継者の確保ができている割合は、52.1%であった。ボランティアの新規登録については、地域や学校により差があることや後継者の確保はできていても育成に至っていない点が課題である。改善点として、広報活動の継続と後継者育成のための機会確保を目標としたい。

市教育委員会アンケート調査

今年度、学校応援団のボランティアについて、新規登録がありましたか。

23件の回答



学校応援団ボランティアの後継者の確保や育成ができていますか。

23件の回答

